



「自衛隊チラシ」全戸配布に抗議！

公務員の「憲法を尊重し擁護する義務」はどこに？



7月1日付「広報ゆうばり」に自衛隊の記念行事のチラシ（B4サイズ）が折り込まれました。多くの市民が「何事かとびつくり！これを市が全戸配布?!」という感想です。裏面には戦車等の体験搭乗コースの説明もありました。市役所の担当課、総務課長に話をきくと、「憲法云々は横において、災害時において、災害時になる師団。災害時の困った時だけ、一方的にお願いしただけです。組織と組織の協力関係が大切ということ、折り込みをしました。何か問題でもありませんか？」

「明日の平和をつくりだす夕張の会」市長へ抗議の申し入れ

7月23日、渡辺輝夫・内田暁風両共同代表が市長を訪問し、「自衛隊チラシ」の広報への折込に対して、申し入れをしました。

市長は不在で、総務の市長担当者の熊谷氏へ、「『北恵庭駐屯地69周年記念行事～君は見たか北恵庭の戦車を～』のチラシ配布に抗議し、要請します」の抗議文書を手渡しました。

その中で、「『核廃絶平和都市宣言』という誇りある表明を公にし、市議会も『日本国憲法第9条改正に反対する意見書』をはじめ、平和の願いを国へ届けています。この流れに、真っ向から反するのが今回のチラシ配布」と述べ、この要請に対する回答と市長への面談を申し入れました。

その後、総務の寺江課長を訪問し、2年前、「つくりだす会」が寄贈した『核廃絶平和都市宣言』は市庁舎のどこに掲示されているのかを尋ねました。すると、市長室の来客室にありますと案内してくれました。さらに、支所にはまだ掲示されていませんがとの質問に「これから掲示します」との返答でした。

市職員と市民の目に見える場所に掲示してくださいと寄贈した額縁入れの宣言は、「つくりだす会」の願いは行政に全く届いていませんでした。

当時の鈴木市長が不在のため、当時の理事二人に手渡したのですが、出向の理事には夕張市が築きあげてきた「平和への願い」は理解されなかったようです。

「夕張市がこれまで築き上げてきた「平和への願い」を踏みこむものですか？」ということ（第10章最高法規）に基づき、「憲法を尊重して擁護する義務」を負う。日本国憲法のもとでは、公務員は99条に規定されています。認められることは、一般に認知されている。倍政権は憲法を改定し、自衛隊を憲法に書き込むことや緊急事態条項を加えること。他に「新日本婦人の会」や「明日の平和をつくりだす夕張の会」でも、抗議の申し入れをしました。

- 市と議会の平和への取り組み
- 【夕張市】
 - ◆1960年 「平和宣言都市」
 - ◆1986年 「核兵器廃絶平和宣言都市」
 - 【夕張市議会】
 - ◆2015年 「安全保障関連法案の徹底審議を求める意見書」採択
 - ◆2017年 「核兵器禁止条約に速やかに署名し批准することを求める意見書」採択
 - 「日本国憲法第9条改正に反対する意見書」採択

さらに、夕張市は、上の図のように行政と議会をあげて、平和への取り組みをすすめて、子どもたちへの平和教育にも力を入れています。そのましが、兵器を公開・体験する記念行事について、全戸配布で広く宣伝を。市民の参議し、今後二度とこのようなことが起きることのないよう、市長に文書で強く要請しました。

ミニコンデンサコンサート開催

7 月 20 日 (土) 午後 2 時、市民研修センターでリンドンコーラルはミニコンサートを開催しました。

プログラムは①混声合唱で合唱組曲「水のいのち」より

♪『水たまり』♪『川』

②♪『贈ることば』

♪『大空と大地の中で』を披露しました。

③テノール独唱で古城一樹さんが♪『夏の思い出』♪『口づけて』♪『暁は光から影をへだてて』

の 3 曲を熱唱しました。

④同じくテノール独唱で平田隆男さんが♪『優しいと

しい女よ』♪『のぼら』♪『千の風にな

って』の 3 曲を熱唱

しました。⑤混声合唱

で♪『群青』合唱

組曲「蔵王」より『早

春』の 2 曲を披露し、

終了後会場の参加者

と♪『さようなら

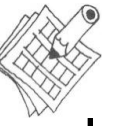
みなさま』♪『よろ

こびの歌』を楽しく

歌いあいました。



くずさんの 夕張歴史散歩(117)



明治維新 33 / 朝鮮干渉 ⑰

帝国主義戦争 激化

日清戦争後のいわゆる三国干渉は、列強が日本の中国進出を抑え、その上で清国の領土分割・略奪を行います。

ロシアは遼東半島を、ドイツは青島を中心とした膠州湾を、イギリスは九竜半島と山東半島の威海衛を、フランスは広州湾をそれぞれ「租借」という形で奪い取ったのです。アメリカもまた「門戸開放」を求め、植民地略奪の「機会均等」を主張します。

阿片戦争に始まる領土再分割・略奪の帝国主義戦争は、日本の参加で新たな段階に入ります。

中国にも民族運動が

禿鷹が主に狙った舞台が、朝鮮であり清国でした。当然のこととして、朝鮮では東学党農民が起ち、清国では「義和団」が蜂起します。

外国に領土・鉄道・鉱山を奪われ重税に苦しむ清国人民は、反帝愛国の運動に立ち上がったのです。義和団は、1900 年(明治 33 年)北京に迫り外国公使館を包囲します。

これを口実に同年六月、米・英・独・仏・豪・伊・露・そして日本の八ヶ国は、いまでいう「多国籍軍」を派遣し鎮圧にあたります。

実は、日本がその鎮圧に参加する理由は、何もなかったのです。にもかかわらず、これを好機と捉え、列強の中で最多の一個師団二万二千人もの軍隊を派遣し、初めて欧米諸国との共同作戦を展開します。

世界の帝国主義列強と肩をならべ

すでに日本は 1889 年(明治 22 年) 2 月、明治憲法を公布し「大日本帝国憲法」と名乗っています。帝国主義国の仲間入りを急いだ日本は、義和団鎮圧でその先頭を切ります。まさに帝国日本です。



島山 和也 「かけある記」 前衆議院議員

島山 和也

希望も笑顔も広がるように

厳しい暑さが続きました。読者のみなさんのお体は大丈夫でしょうか。

原稿を書いている今日は、厚真町・安平町・むかわ町をまわってきました。応急仮設住宅でこの暑さは厳しすぎます。「道議会に喫煙室をつくるより、仮設にクーラーを付けてほしい」との要望も、もつとも思いました。

「町の復興・再建は、まだまだ途上です」とは竹中喜之・むかわ町長さん。被害の大きさと支援が線引きされることにも「たとえ被害が一人でも、その住民にとっては大きな被害です。国や道にも支援を求めるときには、引き続き力をお貸しください」と述べられ、宮坂尚市朗・厚真町長は「小さい町だからきめ細かく話し合いもできる、と努めてきました」と現状を話してくださいました。

「夫を亡くして一人暮らし。そのうえ今度、年金まで減らされる」と、国に対して怒り混じりに語られた女性の話も伺いました。家の解体・再建はじめ今後の見通しも、まだ立てられないようです。選挙中も厚真町では、「消費税を上げないで」と声をかけられました。くらしを壊しても胸が痛まないような安倍政治は何としても変えなければ!

厚真町の仮設住宅の談話室を訪れると、夏休み中の子どもたちが楽しく遊んでいました。夜にはボランティアによる学習支援もあるそうです。子どもたちの笑顔の前に、談話室にいた私たち大人にも笑顔が広がりました。誰もが希望を持てるように、笑顔になれるように。決意も新たにしたい一日でした。